

工学部の求める教員像及び教員組織の編制方針

(1)求める教員像

- 本学の求める教員像を踏まえ、工学部における教育・研究・社会貢献・管理運営の各種活動に意欲的に取り組める者
- 工学部の人材育成に関する目的、卒業認定・学位授与の方針等に掲げる能力を教授するにふさわしい、工学に関する高度な専門的知識と、工学部における教育を実践する能力を有するとともに、継続的にその資質・能力の向上に努める者
- 建築学、工業化学、電気工学、情報工学、機械工学の各分野に関する高度な研究能力を有するとともに、これらの分野における基礎・応用・開発研究の持続的発展、研究成果の発信、イノベーションの創出、社会の発展等に寄与できる能力を有する者
- 国際社会の変動に伴う教育・研究にかかる社会的要請に柔軟に対応できる視野を有し、工学部のグローバル化に貢献できる者
- 学校法人東京理科大学行動憲章を十分に理解し、互いの多様性を認め合い、他の教職員との協働により、工学部・所属学科における教育・研究・社会貢献・国際化・運営等の活動に対し、自らの役割を果たすとともに、大学全体の管理運営にも寄与できる者

(2)教員組織の編制方針

- 工学部・各学科の目的、方針（ポリシー）を実現するために必要な教員を適切に配置する。
- 工学部・各学科における質の高い教育研究活動を継続的に実施するため、教育分野、研究分野、研究指導職位、年齢構成のバランスを考慮するほか、教員の国際化や産学連携も視野に入れて多様な人材を配置する。
- 工学部の教育・研究・社会貢献・国際化・運営の各種活動に対して、教職員間で連携・協働するために、適切に役割を分担し、各教員がその責任を果たすことのできる組織とする。
- 教員の募集・採用・昇任等にあたっては、工学部・学科の運営に資する人事であるかに留意し、本学の関係諸規程等に基づくとともに、透明性・適切性を担保しつつ、公正・公平に行う。